

和光市栄養管理システム
導入事業者選考結果報告書

令和4年11月
和光市栄養管理システム導入事業者選考委員会

和光市栄養管理システム導入事業者選考結果

和光市栄養管理システムに係る導入事業者選考について、書類選考、プレゼンテーション及びヒアリングを実施し、選考委員会において厳正かつ慎重な採点・評価を行った結果、下記のとおり事業候補者を選定しました。

令和4年11月2日

事業候補者	名 称	株式会社コーエイコンピューターシステム
	住 所	香川県坂出市旭町1丁目1-27
	評価点	87.6点

1 経緯

和光市はこれまでシステムを導入したことがなく、Excel シートでの栄養管理計算を行ってきました。献立原案決定後、各校の状況に応じて食材変更や分量見直し、発注書作成、各帳簿の作成・印刷を Excel データで行っていますが、食品成分表のアップデート作業含め処理に時間がかかり、業務負担が膨大となっています。

今後、より円滑に業務を遂行し、継続して安全・安心な給食提供を行うため、新たに栄養管理システムを導入することとしました。

導入にあたり、複数の事業者から豊富な経験に基づく提案を受け、審査を行い、より安全で質の良い給食を提供できる最適の事業者を選考するため、公募型プロポーザル方式を採用し、事業候補者を選定するための「選考委員会」を設置しました。

当委員会では、申請者としての適格性、事業提案の内容等について、書類選考、プレゼンテーション及びヒアリングによる審査を行い、最適な事業者を公正かつ適切に選定しましたので、ここにその結果を報告します。

2 選考委員会の構成

選考委員会の委員は、以下の7名で構成しました。

職名	氏名	所属
委員長	寄口 昌宏	和光市教育部長
委員	佐藤 真二	和光市教育委員会事務局次長兼学校教育課長
〃	土井 純子	和光市立新倉小学校校長
〃	長橋 幸子	和光市立第五小学校栄養教諭
〃	岡田 麻美	和光市立北原小学校栄養主任
〃	中島 理絵	和光市立第二中学校栄養士
〃	浅野 陽子	和光市立広沢小学校栄養士

3 選考の経過

- (1) 公募要領の公表・配布 9月 1日(木)～ 9月30日(金)
- (2) 質問書受付締切 9月 8日(木) (1事業者受付)
- (3) 質問書に対する回答 9月22日(木)
- (4) 公募申請書締切 9月30日(金) (1事業者提出)
- (5) 第1回選考委員会 10月 5日(水) (非公開)
 - ア 提出書類について
 - イ 選定方法について
 - ウ 公開ヒアリングについて
 - エ 今後のスケジュールについて
- (6) 公開ヒアリング 11月 2日(水) (傍聴者0名)
 - 提案説明25分、委員質疑15分
- (7) 第2回選考委員会 (出席委員7名、欠席委員0名)
 - ア 選考評価基準について
 - イ 採点について
 - ウ 報告書の作成について
 - エ その他

4 審査方法

和光市栄養管理システム導入事業者選考基準により、審査項目を設定し配点を決めました。

【評価項目及び配点】

評 価 項 目		基準点数
会社概要	事業展開、事業の特徴	5
経営基盤	財務健全性	5
経営理念	給食に対する理念(児童の健康増進、食育の考え方、ソフトウェア等の販売を通じた社会貢献等)	5

業務実績	栄養管理システムの導入実績及び本業務の実施における信頼性や確実性	10
作業体制及びバックアップ体制	導入のための実施体制、導入後のバックアップ体制	10
	ソフトウェア不具合発生時の緊急対応体制	10
機能・帳票	現在使用している機能や帳票に即した内容に対応できるか。	10
操作性	画面表示がわかりやすく、使用頻度の高い操作を簡便に行えるようデザインされているか。	10
作業体制	導入のための実施体制は十分な内容になっているか。	10
情報セキュリティ	セキュリティ要件に対応し、対策が適切になされているか。	5
運用・保守	運用要件及び保守要件に対応する旨の記述があるか。	10
提案価格	システム導入経費及び次年度以降の保守・運用経費の合計額（一定の基準を設けて評価する）	5
参入に対する意欲		5
合 計		100

以上、合計100点満点として、選考委員7名の平均点が最低必要得点である70点以上の事業者を候補者に決定し、最低必要得点に満たない場合は、候補者と認めないこととしました。

5 応募の申請事業者

1 社

(1) 株式会社コーエイコンピューターシステム（香川県）

6 審査結果

	株式会社コーエイコンピューターシステム
総合得点	613点／700点
委員7名の平均点	87.6点／100点

7 選定理由

株式会社コーエイコンピューターシステムは、県内10自治体以上での学校給食栄養管理システムの導入実績があり、本業務の実施における信頼性や確実性が高く評価されました。また、当該業者は、給食管理・栄養管理ソフトウェアの開発・販売に特化している点もあり、操作性の高い画面表示やソフトウェア不具合発生時の緊急対応体制など、各学校の栄養士が業務を行う際に必要不可欠な点について特に高い評価が得られました。

その他、和光市栄養管理システム導入業務仕様書兼確認書の内容に関しても、システムパッケージで対応可能な内容が数多くあることから、現状の和光市の献立作成方法に基づいて効率的な献立作成・給食管理が期待できるとして選定に至りました。

8 おわりに

本選考委員会においては、申請された事業者の栄養管理システム導入に対する真摯な姿勢と熱意が感じられ、ソフトウェア導入への期待が高まりました。委員会として心より御礼申し上げます。

学校給食は、児童生徒の心身の健全な発達に資することを目的とし、学校教育活動の一環として実施されるものです。これまで独自に作成したExcelシー

トでの献立作成・帳票出力により栄養士の負担が大きかった業務を、本システム導入により効率的かつ確実に遂行することで、食物アレルギー事故防止や食育活動の推進に繋がると考えます。

システム導入により、給食を通じて児童生徒をはじめ、関係者の皆様に喜んでいただけるよう事業者と連携を図ってまいります。

令和4年11月

和光市栄養管理システム導入事業者選考委員会
委員長 寄口 昌宏